令和元年度事業実施状況

【研修部関係】

Ⅰ 国際協力研修事業

16 日本語・日本文化研修事業(日本語高等研修等) ---------- 32

17 日本語・日本文化研修事業(国際人材育成事業) ---------- 34

18 国際協力機構(JICA)受託研修事業 ---------- 39

Ⅱ 地域の国際化推進事業

19 地域の国際化推進事業(地域交流イベント) ---------- 42

20 国際協力情報の収集・提供事業(ひろしま国際プラザ情報センター・
図書室等運営事業) ---------- 56

21 NGOの人材育成・情報提供事業 ---------- 58

Ⅲ ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

22 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業 ---------- 60

（研修部：Ⅰ 国際協力研修事業）

１６　日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

１　目的

海外からの研修員等に対し，業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに，国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

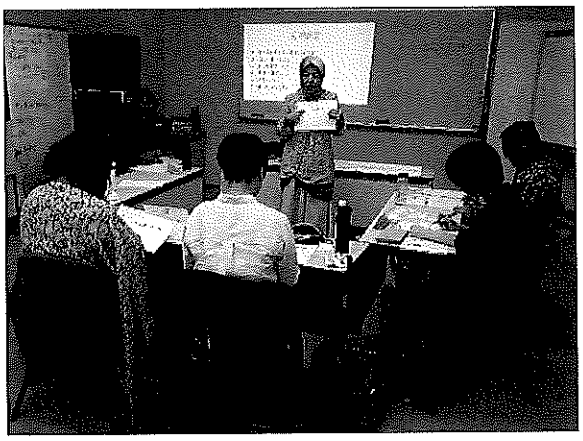
２　事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

３　令和元年度実績

研修名等			人数	実施期間	内容
日本語高等研修	２週間集中プログラム	Ａ日程	４人	8/5～8/9 8/26～8/30	外国人留学生が大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表，討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
		Ｂ日程	３人	8/19～8/23 9/9～9/13	
	半年プログラム		６人	10/7～3/6	
海外日本語教師養成研修	東南アジア		インドネシア：２人 ベトナム：３人	10/2～11/27	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に，日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修
	東アジア【中止】		中国・四川省：２人 韓国：１人 台湾：１人	(2/5～2/17) 【新型コロナウイルス感染防止のため中止】	アジア・太平洋地域等の日本語教師を招聘し広島県留学環境をPRする研修

日本語高等研修　半年プログラム



海外日本語教師養成研修

<table>
<tr><th colspan="3">研　修　名　等</th><th>人数</th><th>実施期間</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td colspan="3">ＪＥＴプログラム
日本語・日本文化研修</td><td>３８人</td><td>8/19～8/23</td><td>ＪＥＴプログラムにより広島県及び県内市町に派遣される海外の青年に対する日本語・日本文化事情研修</td></tr>
<tr><td rowspan="3">海外大学
日本語・
日本文化体験
プログラム</td><td colspan="2">上海海洋大学
（中国）</td><td>２０人
（他引率１人）</td><td>6/26～7/4</td><td rowspan="3">アジア・太平洋地域等の高等教育機関の学生で，日本語・日本学を専攻している者，あるいは日本理解・広島理解を希望する者を対象にした日本語・日本文化研修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">新安山
大学校
（韓国）</td><td>夏季</td><td>１５人
（他引率１人）</td><td>7/3～7/19</td></tr>
<tr><td>冬季</td><td>１４人
（他引率１人）</td><td>1/8～1/24</td></tr>
<tr><td colspan="3">在外県人会後継者育成支援等事業</td><td>在外広島県人会
青少年及び引率者
１６人
グアナファト州
青少年及び引率者
６人</td><td>在外広島県人会
7/29～8/7
グアナファト州
8/1～8/7</td><td>ハワイ・北米・中南米の在外広島県人会及び広島県の友好提携先のメキシコ・グアナファト州から青少年を広島に招き，広島への理解を深めてもらう交流プログラム</td></tr>
<tr><td colspan="3">広島の魅力発信プログラム【中止】</td><td>県外大学等の
留学生
２７人
県内大学の日本人学生，留学生
１２人</td><td>(3/11～3/13)
【新型コロナウイルス感染予防のため中止】</td><td>県内外の大学等の在学生を対象として，広島県の留学環境・産業・文化・観光などの魅力に触れる機会等を提供し，広島県内への進学や定着につなげる。また，これらの取組についてＳＮＳで情報発信し，日本・広島留学への学生の意欲喚起を図る。</td></tr>
</table>

上海海洋大学（中国）　日本語研修

在外県人会後継者育成支援等事業

１７　日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

１　目的

海外からの学生等に対し，日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し，日本への理解の促進を図るとともに，国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

２　事業概要（(1)～(3)平成18(2006)年度開始，(4) 平成26(2014)年度開始）

(1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し，日本語の授業，日本文化体験，日本の歴史・産業の見学，及び地域住民・学生との交流の機会（ホームステイ・ビジットも実施）を提供する。

【５泊６日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内容
１日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン，開講式，日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
２日目	金	午前 午後	広島市内見学 （平和記念公園，マツダミュージアム，お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
３日目	土	終日	ホームステイ
４日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社），もみじ饅頭づくり体験など
５日目	月	午前・午後	学校訪問 （生徒との交流，授業・クラブ活動参加など）
		夕方	日本文化体験（茶道など）
６日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道，生け花，折り紙，浴衣の着付け，絵手紙，書道，和食（巻き寿司など），お好み焼き，和菓子，折り鶴アート，殺陣，竹とんぼ製作，日本の遊び（竹馬・けん玉等）

(2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関・大学の教職員・学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や，海外で日本語や日本文化を学んでいる人のための実践的な日本語研修などを行う。

(3) 企業等国際化研修

日系企業や日本と取引のある企業等が受け入れる外国人研修員に対し，HIPに宿泊しながら日本語や日本文化の学習の場を提供する研修プログラム。昼間に会社・工場などで技術研修を受け，HIPに帰ってから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また，企業からの要望に応じて，日本の生活を開始するためのオリエンテーション，健康診断，役場への届け出，銀行口座開設などの支援，日本語集中講義なども行う。

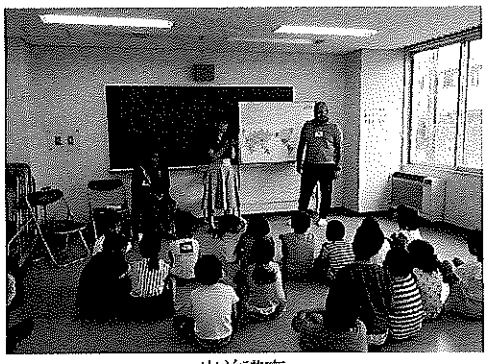
(4) グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）

ひろしま国際プラザに入居して，所属の大学に通いながら，国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムを実施する。

レジデントアシスタント（RA）の日本人学生を配置し，プログラムに参加する留学生を支援している。

区　分	グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して，次の能力を養う。 ア　日本語及び日本文化・事情理解 イ　次世代のリーダー・グローバル人材として必要な能力 ウ　多文化共生・協働・平和を希求する精神
プログラム内容等	ア　地域交流等 ・　ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し，イベントの中で自国の文化等を紹介したり，イベントや研修事業の運営を支援する。 ・　実施時期：随時 イ　留学生間の交流 ＲＡの主宰のもと，定例的なミーティングを開催し，入居留学生の相互交流とともに，ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて，情報交換を行う。 ウ　日本語の学習支援 ひろしま国際センターの日本語講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。
参加期間	１年間（原則最大２年間）
累計参加者	延べ22ヶ国　79人（令和２年３月末現在） （内訳） 中国23，ベトナム10人，フィリピン９人，タイ５人，バングラデシュ５人，イラン３人，インド３人，韓国３人，インドネシア２人，エジプト２人，カンボジア２人，メキシコ２人，アフガニスタン・アンゴラ・イエメン・ウズベキスタン・スリランカ・シリア・ナイジェリア・ネパール・フランス・パキスタンは各１人

世界わくわくプロジェクト



出前講座

プログラム参加者たち

ピーストーク

3　令和元年度実績

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
青少年等日本文化体験研修	Simonds Catholic College (豪州)	15人 (3人)	4/4～4/9 (5泊6日)	海外（オーストラリア，米国，マレーシア）の中学生・高校生を対象とした日本語・日本文化研修
	St. Bernards College (豪州)	18人 (3人)	9/20～9/26 (6泊7日)	
	チャーチル・カウンティ高校 (米国)	18人 (5人)	6/4～6/10 (6泊7日)	
	スルタン・イスマイル高校 (マレーシア)	7人 (6人)	12/4～12/13 (9泊10日)	
	フィリピン高校生日本文化研修 (フィリピン)	20人 (2人)	5/19～5/28 (9泊10日)	広島大学が招聘したフィリピン人高校生に対する日本文化体験プログラム
	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） フィリピン高校生	15人 (3人)	6/9～6/15 (6泊7日)	科学技術振興機構が行う，科学技術分野において日本とアジア青少年が交流を行う事業
	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） 四川省・重慶市高校生	9人 (1人)	10/15～10/21 (6泊7日)	
	グローバル未来塾inひろしま	24人	7/28～2/2	将来，国際平和を希求し世界的に活躍できる人材となることを目指す高校生等を対象に，広島県が実施する，英語力，核軍縮や紛争解決などの国際的課題を学ぶプログラム
	広島ＳＴＥＭ研修 (豪州)	13人 (2人)	12/1～12/7 (6泊7日)	広島県教育委員会と教育交流協定を締結している，豪州・クイーンズランド州から派遣された日本語，科学，技術，数学（STEM教科）を学ぶ高校生の日本語・日本文化体験，交流プログラム
	台湾・英語キャンプin広島 (台湾)	14人 (2人)	12/15～12/22 (7泊8日)	広島県教育委員会と台湾桃園市が共同で実施する「台湾・英語キャンプ in 広島」に台湾から参加する高校生を対象とした，日本語・日本文化体験・交流プログラム
海外自治体・大学等国際化研修	日本の教育システムと文化体験研修 (フィリピン)	11人	9/17～9/21 (4泊5日)	フィリピン大学ほか教育関係者を対象とした日本の教育現場視察と文化体験の研修

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
企業等国際化研修	四川省環境保護合作事業 （中国）	3人	6/13～7/2 (3週間)	広島県と四川省環境保護庁が協定を結び，平成４年から継続している環境分野の技術交流事業の国内研修
	立命館アジア太平洋大学 「広島ピースツアー」	21人 (3人)	6/28～6/29 (1泊2日)	国際生(13 人)及び国内生(8 人)の平和学習と日本文化体験プログラム
	広島大学 インド大学生日本文化体験プログラム	15人	6/24～6/30 (6泊7日)	広島大学が招聘したインド人大学生に対する日本文化体験プログラム
	広島大学 米国大学生日本文化体験プログラム	13人 (1人)	6/15～6/20 (5泊6日)	広島大学が招聘した米国人大学生に対する日本文化体験プログラム
	広島大学「法学分野における夏季特別研修」日本語・日本文化体験プログラム （ブラジル）	5人 (3人)	7/25～8/8 (2週間)	広島大学のブラジルでの海外協定校の１つであるサンパウロ大学の学生に対する日本語・日本文化研修
	㈱水みらい広島 ミャンマー人社員日本語研修	2人	5/16～5/18 (2泊3日)	ミャンマー人社員の日本語学習に対する指導
	ユニタール広島 南スーダン研修員日本文化体験プログラム	28人	8/29～9/6 (9日間)	ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所が受け入れた南スーダンからの研修員に対する日本文化研修
	ユニタール広島 イラク研修員日本文化体験プログラム	19人	12/2～12/10 (9日間)	ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所が受け入れたイラクからの研修員に対する日本文化研修
	米国国務省日本語研修所 日本文化研修	5人 (2人)	11/8 (1日)	米国国務省日本語研修所研修生に対するホームステイや平和学習
	㈱日本開発サービス シリア/平和への架け橋・人材育成プログラム（日本語研修）	11人 (帯同家族10人)	7/31～9/10 (うち日本語研修期間は8/5～9/9)	来日直後のシリア／平和への架け橋・人材育成プログラム研修員と帯同家族に対する基礎的な日本語能力の養成を目的とした研修

区分	研修名等	人数 (引率・外数)	実施期間	備考
GRP	グローバル能力開発コース (長期)	新規12人 (継続17人 -外数)		(全体の内訳) 中国８人，フィリピン５人，バングラデシュ３人，ベトナム２人，インドネシア２人，メキシコ２人，イラン・インド・スリランカ・エジプト・シリア・パキスタン・イエメンは各１人
	レジデント・アシスタント（ＲＡ）	新規２人 (継続1人- 外数)		日本人学生
合　計		300人		

１８　国際協力機構（JICA）受託研修事業

１　目的

独立行政法人国際協力機構（JICA）中国センターが受け入れた，開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し，様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

２　事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し，広島県や県内の大学等と協力して実施する。

３　令和元年度実績

（1）課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
紛争影響国における地域社会再建にかかる地方行政能力強化	１０人	6/24～7/10	【内容等】 ・紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府職員の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。 ・紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取組みと，その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。 【協力機関】東広島市，神石高原町，いわき市，福島県，医療創生大学，いわきおてんとSUN企業組合　等 【参加国】アフガニスタン，ミャンマー，スリランカ，南スーダン，ウガンダ，JICA南スーダン事務所スタッフ
エネルギーの高効率利用と省エネの推進（D）	６人	7/18～8/30	【内容等】 ・省エネルギー政策の意義や政策立案の基礎などを学ぶとともに，日本がこれまでに培った省エネルギー関連の知識や技術，経験の習得を通じて，対象国において省エネルギー政策立案ができる人材を育成することを目的とする。 ・日本における省エネルギー行政の体系と取組を理解するための講義や，日本の省エネ技術と日本の省エネ推進活動の実例の視察，政策立案の演習などを実施する。 【協力機関】中国経済産業局，広島大学，広島県環境県民局　等 【参加国】アルゼンチン，キューバ，ドミニカ共和国，エルサルバドル，ホンジュラス
紛争影響国における国家建設	５人	7/29～8/9	【内容等】 ・日本の統治機構や行政府・立法府・司法府の関係，国家安定に資する治安関連諸機関の機能を理解する。 ・日本の事例を通じて安定した国家建設を適切に計画・履行するためのガバナンスのあり方を学ぶとともに，目指すべき国家像や治安分野を含む諸機関の中での行政官の役割を見直し，幹部行政官の政策形成能力を向上させる。 【協力機関】日本政治総合研究所，明治大学　等 【参加国】ソマリア，南スーダン，イエメン
排水処理技術	８人	8/29～10/23	【内容等】 ・日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶと共に，参加国間で課題や経験を共有，議論する中で，参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。 ・「水環境保全の意義」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて，講義・視察・実習を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。 ・また，途上国に向けた技術の一つとして，UASB+DHSを紹介し，自力で実行可能な改善取組みへの意欲を向上させる。 【協力機関】東広島市，広島大学，東北大学，長岡科学技術大学，県内の除害装置を持つ企業　等 【参加国】アルゼンチン，エクアドル，キューバ，コロンビア，ニカラグア，ボリビア，メキシコ

研修名	人数	実施期間※	研修概要
道路維持管理（D）	７人	10/24～12/4	【内容等】 ・参加国の経済発展に伴う急増する自動車交通需要に対応する道路整備について，日本の技術・知識・経験を活かし，効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。 ・PDCAサイクルを使って，予防的・効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。 ・道路維持，管理技術の現場の視察や実習を行う。 ・自国の維持管理の改善に向けた行動計画を作成する。 【協力機関】中国地方整備局，広島県，東広島市，広島大学，京都大学，大阪大学，拓殖大学，長岡技術科学大学，高速道路関係企業，NPO　等 【参加国】アンゴラ，エルサルバドル，ガーナ，セントルシア，スーダン，タンザニア，ジンバブエ
ビジネスを通じた 女性のエンパワメント	１０人	1/9～2/14	【内容等】 ・中米統合機構（SICA）加盟国とJICAが締結した技術協力4分野の内の「ジェンダー」について受託実施。当該分野の日本の政策及び広島県内地方部における地場産業と地域経済活性化の取組と女性の参画事例を学び，各国での事業実施支援の基盤を構築することを狙いとする。 ・SICAと加盟国，あるいは加盟国同士の情報共有や連携強化を図るため，日本での学びを元にしたワークショップやディスカッションを主軸とした研修を行う。また，帰国後の改善に向けアクションプランを作成する。 【協力機関】県立広島大学，広島県，広島県内市町，ジェンダー推進に係るモデル企業・団体，女性起業家　等 【参加国】コスタリカ，ドミニカ共和国，エルサルバドル，ホンジュラス，ニカラグア，パナマ
アフリカ地域 教師教育 （基礎教育分野）	１３人	1/17～2/19	【内容等】 ・仏語圏アフリカの教師教育改善のための方策を検討し，初等教育の質向上を図ることを目的とする。 ・日本の教育及び教師教育に関する経験や現状を知ることを通じて，自分の組織の課題を明らかにし，その課題に対する改善計画を検討するための講義，視察，ワークショップなどを実施する。 【協力機関】広島大学，広島県立教育センター，東広島市教育委員会 等 【参加国】ベナン，ブルキナファソ，中央アフリカ，チャド，コートジボワール，ジブチ，ガボン，ギニア，マダガスカル，マリ，モーリタニア，ニジェール，セネガル
計７コース	５９人		

※実施期間は，技術研修期間である。（出入国日，ブリーフィング・オリエンテーションは含まない）

「エネルギーの高効率利用と省エネの推進（D）」
（ひろしま国際プラザを利用した省エネ診断の実習）

「アフリカ地域　教師教育（基礎教育分野）」
（広島県立教育センターにて情報処理教育棟を視察/体験）

(2) 国別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
コソボ 「コミュニティ開発を通じた生計向上と信頼」	１０人	7/22～8/2	【内容等】 ・アルバニア系が多数を占めるコソボにおいて，全住民共通の利益となる経済状況の改善に向け，少数民族（セルビア系等）も含む住民参加型の生計向上支援を展開し，住民同士の信頼醸成や地域経済の活性化を目指す。 ・中央省庁，地方政府，民間団体から地域振興に携わる人材を招聘し，日本の民間団体や地方自治体の地域振興に関する取組，平和や復興にかかわる行政の在り方や官民連携についての学びを通じ，帰国後の活動に向けたアクションプランを作成する。 【協力機関】(社)広島リンクサービス，世羅町，協同組合夢高原市場，世羅高原6次産業ネットワーク，せらにしふれあいの会，はつはな果蜂園，広島県商工会連合会，㈲平田観光農園，合同会社なるさ，君田加工センター森の食彩館，玉川大学，ひろしまブランドショップTAU　等
計１コース	１０人		

(3) 青年研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
アフリカ（英語） 「初中等理数科教育」	１４人	11/11～11/22	【内容等】 ・初中等教育の理数科分野に携わる行政官や同分野における指導的な役割を担う教諭を対象とし，日本における理数科教育の実施体制，教育の質向上の取組を中心とした基本的な知識を得ると共に，当該分野に係る日本の経験または社会の背景等を学ぶことで将来のリーダー育成を図る。 ・学識経験者や県・市の教育委員会職員等による，近年の教育政策の変遷や教育現場への支援体制などに係る講義に加え，学校現場の視察や実践的な理数科教育法等の学びを通じ，帰国後の改善に向けたプログラムレポートを作成する。 【協力機関】広島大学，広島県教育委員会，東広島市教育委員会，広島ユネスコ協会　等 【参加国】アンゴラ，エジプト，エチオピア，ガーナ，ケニア，ザンビア，南スーダン，エスワティニ，タンザニア，ナミビア，南アフリカ共和国，リベリア，レソト
計１コース	１４人		

(4) 日系研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
伝統工芸技術の承継による日系社会アイデンティティの構築（長期）	１人	5/20～11/14	【内容等】 ・デザイン・工芸を専門とする研修員が日本の伝統工芸の技術や精神を学び，帰国後に制作・日本文化の普及等に資することを目的とする。 【実施機関】NPO法人工房おのみち帆布 【参加国】アルゼンチン
伝統文化（神楽）の継承による日系社会の活性化	２人	10/7～11/15	【内容等】 ・日系社会で神楽の伝統を引き継ぐべく日々活動している若者を対象に，演舞や道具類などの神楽技術及び後継者の指導・育成技術の習得や，神楽イベントを通じて，日系社会の担い手としての連携と共同意識を高めることを目的とする。 【実施機関】安芸高田神楽協議会 【参加国】ブラジル
計２コース	３人		

※実施期間は，技術研修期間である。（出入国日，ブリーフィング・オリエンテーションは含まない）

(参考) 過去のJICA研修受託実施状況　　（単位：コース，人）

区分/年度	H9～H26	H27	H28	H29	H30	R1	累計
コース数	204	11	15	14	14	11	269
研修員数	1,762	115	132	131	117	86	2,343

１９ 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）

１　目的
県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

２　事業概要
多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。
また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポーター」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

３　令和元年度の実績

１　地域における国際交流推進事業

【目的】
日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

１　子ども英語村

(1) 概　　要　東広島市内や近郊に住むＡＬＴ・ＣＩＲやひろしま国際プラザに滞在中の外国人留学生の協力により、遊びながら英語を学び、また異文化理解と多文化共生社会の推進を支援することを目的とする。

(2) 対 象 者　日本人住民（主に東広島市在住の語学・異文化理解に関心のある小学生）

令和２年３月 14 日（土）に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止

２　「やさしい日本語」講座

(1) 概　　要　外国人住民にとって理解が容易な「やさしい日本語」で話すための方法について講習会を開催することで、業務及び日常生活における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。
▽　「やさしい日本語」の概略、ロールプレイによる実践練習

(2) 対 象 者　東広島市に在住・勤務し、外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（主に教育・福祉・保健分野に従事する者）、住民自治協議会、地域メディア担当者、ボランティア等

(3) 実施回数　３回

(4) 参加者数　163 名

(5) 実施状況

（１回目）

日　　時	令和元年 10 月 16 日（水）　10：00～11：30
場　　所	三永地域センター
対　　象	民生委員（西条南在宅福祉の部）
参加者数	45 名
内　　容	「やさしい日本語」講座

（2回目）

日　　時	令和元年 11 月 30 日（土）　9：00～10：30
場　　所	黒瀬保健福祉センター
対　　象	広島国際大学在学生及び一般市民
参加者数	100 名
内　　容	「やさしい日本語」講座

（3回目）

日　　時	令和元年 12 月 25 日（水）　13：30～14：30
場　　所	東広島市御薗宇小学校
対　　象	御薗宇小学校教員
参加者数	18 名
内　　容	「やさしい日本語」講座

11 月 30 日の
「やさしい日本語」講座

3　外国人のための東広島バスツアー

(1) 概　　要　地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。

▽　市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
▽　バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流

(2) 対 象 者　東広島市に在住する外国人住民等

(3) 実施回数　2 回

(4) 参加者数　78 名

(5) 実施状況

（1回目）

日　　時	令和元年 6 月 30 日（日）　8：30～17：00
参加者数	37 名
内　　容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・三原市本郷町の三景園を見学 ・安芸津町の有田園芸農場でじゃがいも掘り体験

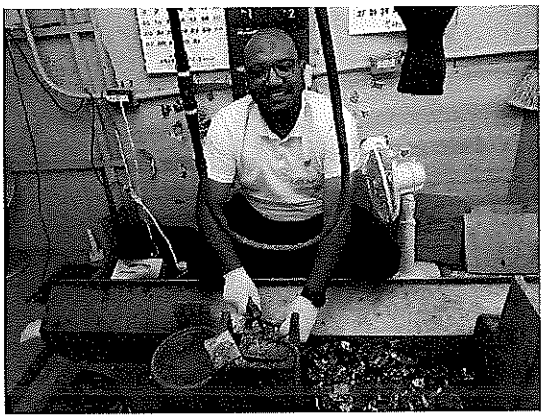
（2回目）

日　　時	令和元年 10 月 19 日（土）　8：30～17：10
参加者数	41 名
内　　容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・豊栄町の小石川リンゴ園でリンゴ狩り ・安芸津町の安芸津漁協で牡蠣打ち体験

（3回目）

令和2年3月20日（金・祝）に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止

6月30日安芸津町でジャガイモ掘り体験



10月19日安芸津町で牡蠣打ち体験

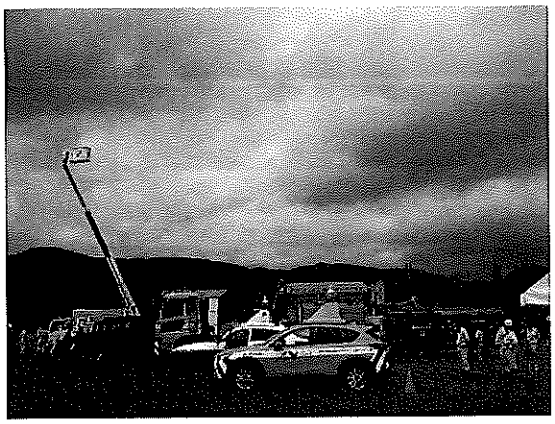
4　外国人のための防災フェスタ

(1) 概　　要　　外国人住民等を対象に、地震、風水害、火災などの防災をテーマにした体験型イベントを開催又は東広島市総合防災訓練等に参加し、外国人住民等の防災意識を高めるとともに、地域の安全・安心の向上を図る。

(2) 対 象 者　　東広島市に在住する外国人住民等

(3) 実施状況

日　　時	令和元年8月23日（金）　9：30～16：30
場　　所	東広島市総合防災訓練会場（安芸津町）、安芸津中学校体育館
参加者数	13名
内　　容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・安芸津町の新来島ドック工場を見学 ・東広島市総合防災訓練の見学 ・安芸津中学校体育館で避難所・救護所体験 （「防災アドバイザー事業」を合わせて実施）



東広島市総合防災訓練を見学

救護疑似体験をする外国人参加者

5　地域交流希望事業

(1) 概　　要　ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動を促進する。
▽　日本の伝統芸能発表会、ミニコンサート、ロビーでの日本伝統文化の作品展示、スポーツを通した交流イベント　など

(2) 対 象 者　交流イベント等を計画している地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員等

(3) 場　　所　ひろしま国際プラザ　ロビー・体育館・レストラン　など

(4) 実施回数・参加者数

伝統芸能発表会	8回	518名
ミニコンサート	6回	197名
スポーツ交流	33回	896名

伝統芸能発表会（西条酒造り唄）

伝統芸能体験（次郎丸太鼓）

6　ホームステイ・ビジット講習会

(1) 概　　要　身近にできる国際協力・交流の手段として有益なホームステイについての講習会を開催し、日本人住民のホームステイへの関心を喚起し、またホストファミリー相互の連携及び情報共有を強化する。

(2) 対 象 者　ホームステイ受入れに興味を持つ日本人住民

(3) 実施状況

日　　時	令和元年6月15日（土）　10：00～12：00
場　　所	ひろしま国際プラザ
参加者数	54名（うちホストファミリー48名、外国人6名）
内　　容	・ホームステイ・ビジットの概要（目的・流れ・ハラルフードなど）、質疑応答 ・実際に外国人を招いてワークショップを実施

ホームビジットのシミュレーション

参加者全員で集合写真

7　外国人のための子育て交流会

(1) 概　　要　未就学児を持つ外国人・日本人住民の交流会を開催することで、孤立しがちな外国人保護者の子育ての悩みを解消し、外国人・日本人の垣根を越えた子育てネットワークづくりを支援する。

(2) 対 象 者　主に東広島市在住の未就学児を持つ外国人・日本人住民及びその子ども

(3) 実施状況

日　　時	令和元年 10 月 26 日（土）　10：00～12：00
場　　所	ひろしま国際プラザ
参加者数	38 名（外国人 16 名，日本人 22 名）
内　　容	・自己紹介 ・アイスブレーキング（ゲーム「英語のあそび歌」「じゃんけん列車」） ・ワークショップ（工作「風車作り」） ・各国の子育て事情等（テーマトーク、フリートーク）

子育て中の「あるある」トーク

家族ぐるみでの交流をした参加者たち

8　防災アドバイザー事業

(1) 概　　要　外国人住民等への災害時支援や外国人住民等の防災意識を高めるため事業等にアドバイザーを派遣し、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。

(2) 対 象 者　東広島市に在住する外国人住民を支援する機関・団体等

(1 回目)

令和元年 8 月 23 日（金）に「外国人のための防災フェスタ」と合わせて実施

※上記「4　外国人のための防災フェスタ」に記載

(2 回目)

令和 2 年 3 月 24 日（火）に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止

9　親善都市マリリア市ＰＲ事業

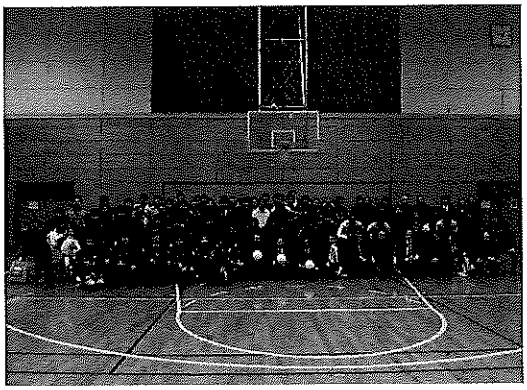
(1) 概　　要　東広島市の親善都市であるブラジルマリリア市との友好交流（親善都市提携40周年）をPRする。

(2) 対 象 者　東広島市民、広島県民

(3) 実施状況

日　　時	令和2年2月8日（土）～2月16日（日）
場　　所	ひろしま国際プラザ ロビー、情報センター・図書室、レストラン、体育館・グラウンド
参加者数	・東広島市国際交流フットサルリーグ・ﾏﾂﾀﾞ会杯参加者150名(うち外国人90名) ・期間中レストラン利用者数877名
内　　容	・写真・パネル展示（レストラン前） ・関連図書・CD展示（情報センター・図書室） ・ブラジル料理の提供（レストラン） ・その他：東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯への協賛 （2月16日（日）体育館・グラウンド）

パネル展示
（レストラン前）



東広島市国際交流フットサルリーグ・
マツダ会杯

10　メキシコ選手団との交流

(1) 概　　要　メキシコ選手団（ゴルフ）と多くの市民が、スポーツや文化活動等を通じて交流し、国際理解の促進や多文化共生のまちづくりの推進に資する機会とする。

▽　お好み焼き作り
▽　日本文化体験（書道）
▽　お祭り Hiroshimana!日本のお祭りを楽しもう!

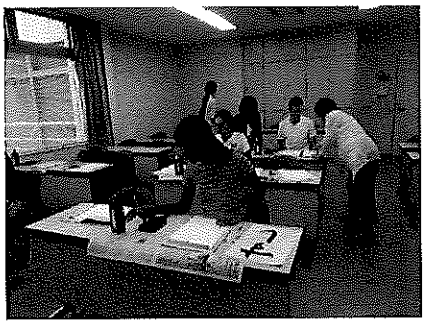
(2) 対 象 者　メキシコ選手団（ゴルフ），国際交流に興味がある市民

(3) 場　　所　ひろしま国際プラザ

(4) 実施回数　3回

(5) 参加者数　　計　毎回メキシコ選手団　7名、　延べ一般参加者等　106名

お好み焼き



書道

日本のお祭り

2　国際相互理解促進事業

【目的】
日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

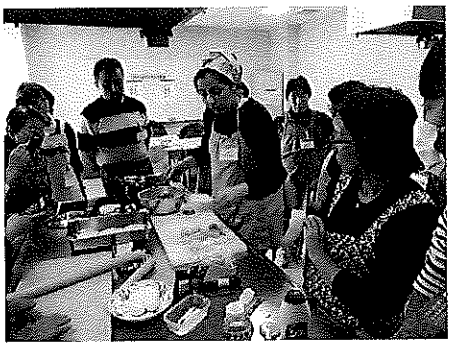
1　ワールドクッキング教室

(1) 概　　要　海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
▽　講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
▽　講師の母国文化、社会事情の紹介

(2) 実施回数　18 回（3 月にインヂネシア料理を 2 回実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止）

(3) 実施状況　テーマ国：エジプト、アフガニスタン、ロシア、ウガンダ、ネパール、ガーナ、インド、タジキスタン、ドイツ

(4) 受講者数　延べ 305 名


タジキスタン料理

ドイツ料理

ウガンダ料理を試食後
お国紹介を聞く

2　広島平和学習

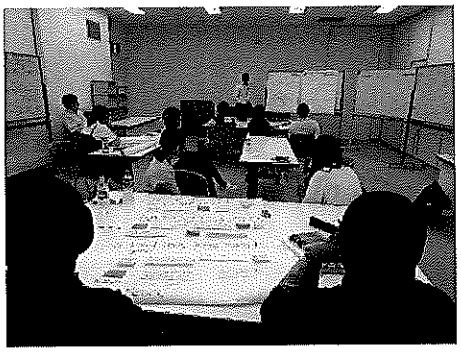
(1) 概　　要　平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島の復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。

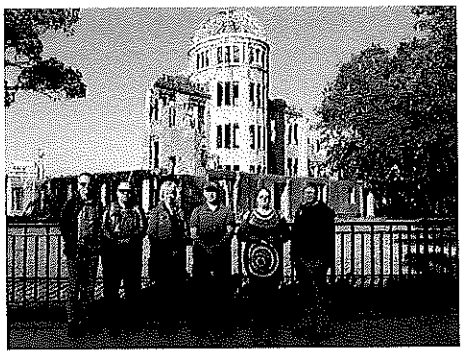
(2) 対 象 者　ひろしま国際プラザに滞在する研修員など

(3) 実施回数　24 回

(4) 参加者数　計 225 名

(5) 行　　程　平和記念資料館見学
「平和都市ヒロシマの歩み」（講義）又は「被爆体験講話」
平和記念公園見学
（原爆ドーム、慰霊碑、原爆の子の像、爆心地など）　など





3　日本文化体験教室

(1) 概　　要　伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。

(2) 対 象 者　ひろしま国際プラザに滞在する研修員

(3) 場　　所　ひろしま国際プラザ　研修室・和室　等

(4) 実施回数　60 回（着付け 17 回、書道 11 回、茶道 9 回、華道 7 回、折り鶴アート 6 回、お好み焼き体験 3 回、日本料理体験 3 回、殺陣 2 回、和菓子 2 回）

(5) 参加者数　計 1,153 名

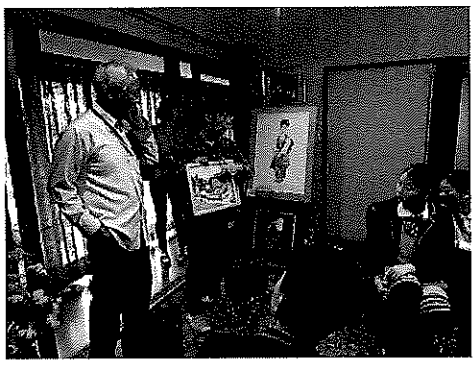
4　ホームステイ・ビジット

(1) 概　　要　日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。

(2) 対 象 者　ひろしま国際プラザに滞在する研修員

(3) 実施回数　19 回

(4) 参加者数　計 158 名



5　出前講座

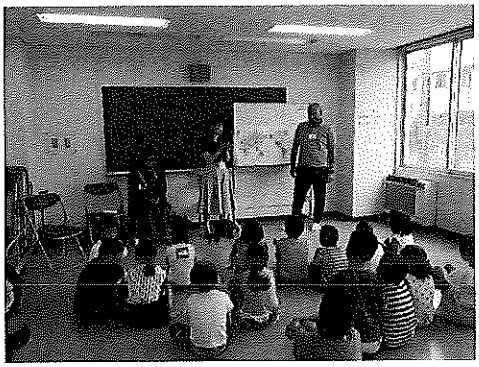
(1) 概　　要　　在住外国人と日本人住民との交流。日本人住民からの申し込みに応じて随時開催し、日本人住民の国際交流を促進し異文化理解を高める。

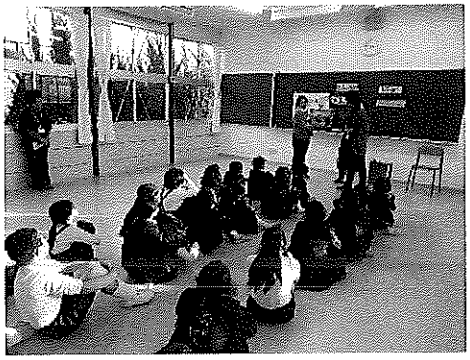
(2) 対 象 者　　東広島市に在住する日本人住民

(3) 場　　所　　申し込み者が提供する場所

(4) 実施回数　　３回

(5) 参加者数　　計 90 名





3　相互理解・交流促進事業＜ＪＩＣＡ受託事業＞

【目的】
JICA 研修員と地域住民が直接交流できる場を創出し、地域住民の開発途上国・地域及び国際協力に対する理解を促進するとともに、研修員の日本理解を深める。

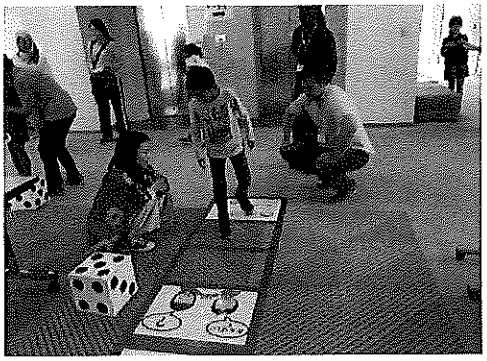
1　世界わくわくプロジェクト

(1) 概　　要　　体験ブースやスタンプラリー等を通じ、JICA 事業について理解と関心を深めてもらうイベントを開催する。
▽　４つの体験ブース、２つのワークショップなど

(2) 対 象 者　　国際交流に興味を持つ小学生以上の地域住民

(3) 実施状況

日　　時	令和元年 9 月 28 日（土）　10：00～12：30
場　　所	ひろしま国際プラザ
参加者数	研修員 22 名、一般参加者 148 名、ボランティア 9 名
内　　容	・各ブースでの体験 「世界のありがとうを集めよう（研修員の国の言葉で「ありがとう」を意味する言葉を教えてもらう）」、「国旗ガーランド（世界の国のクイズに挑戦し、その国の国旗でガーランド作り）」、「ミッションすごろく（研修員と参加者がペアで、すごろくで示されたミッションをクリア）」 ・ワークショップ 「世界ボックス（箱に入っているグッズがどこの国で何のために使われているかを学ぶ）」、「おいしいチョコレート（チョコレート原料のカカオ農園での児童労働について学ぶ）」 ・ハラルフードの試食（シリアのパスタスープの提供、ハラルフードの説明） ・新聞・雑誌のリサイクルフェア（情報センター・図書室） ・人形劇＆絵本の読み聞かせ



2　サイエンスパーク施設公開

(1) 概　　要　　サイエンスパーク施設公開時に、研修員が母国の地理・社会・文化事情等を紹介する、アクティビティやワークショップを開催する。
▽　研修員の国の情報や、その国で実施されたJICAプロジェクトのパネル紹介、研修員との会話から国名を当てるクイズなど

(2) 対 象 者　　開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民

(3) 実施状況

日　時	令和元年８月１日（木）　10：00～16：00
場　所	ひろしま国際プラザ
参加者	研修員６名、一般参加者等 238 名
内　容	・クイズコーナー、展示コーナー、施設見学ツアー ・エスニックバイキングランチ

3　ＪＩＣＡ研修員と話すＨＩＲＯＳＨＩＭＡピーストーク

(1) 概　　要　　ルワンダ、フィリピン、シリア等、紛争経験国からきた長期研修員等が講師を務め、広島市民向けに国の概要、過去の出来事と現在の様子、広島での思い出について紹介する。
市民と研修員の対話、および参加した市民同士が平和について語り合う時間を設ける。
▽　パワーポイントによるプレゼンテーション、フリートークなど

(2) 対 象 者　　開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民

(3) 実施回数　　２回

(4) 参加者数　　計　研修員　６名、一般参加者等　75 名

(5) 実施状況

（１回目）

日　時	令和元年９月 14 日（土）　10：00～12：00
場　所	広島平和記念資料館
参加者	研修員１名（アフガニスタン出身）、一般参加者等 27 名

内　容	・研修員の紹介 ・研修員によるお国紹介 ・研修員によるアフガニスタンの歴史や現状、紛争・難民体験の説明 ・ワークショップ（グループワーク・個人ワーク）

（２回目）

日　時	令和元年 12 月 14 日（土）　13：30～15：30
場　所	大竹市玖波公民館
参加者	研修員５名（フィリピン出身）、一般参加者等 48 名
内　容	・研修員の紹介 ・研修員によるお国紹介 ・研修員によるフィリピンの歴史や現状、ミンダナオ武力衝突の説明 ・ミンダナオ小学校へのメッセージボード作成

4　学校訪問

(1) 概　　要　　授業や課外活動への研修員の参加・交流を通して、日本人児童・生徒が開発途上国や異文化理解について興味・関心を持つ機会とするとともに、研修員が日本の教育・文化事情について理解を深める機会とする。
▽　お互いの文化・社会事情等について相互に紹介する。
▽　お互いの伝統的な遊び等を紹介し、実演を通して交流を深める。

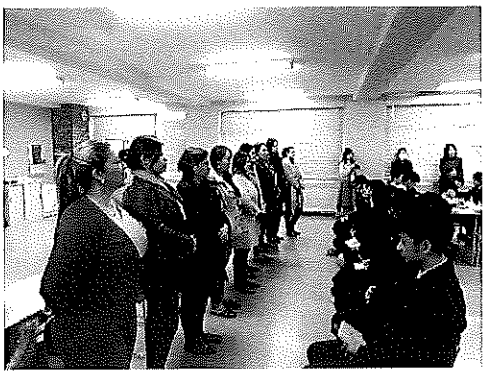
(2) 対 象 者　　開発途上国・開発教育に興味を持つ中国地方の小･中･高等･特別支援学校

(3) 実施回数　　５回５校

(4) 参加者数　　計　研修員　56 名，児童・生徒・教員等　569 名

(5) 実施状況

第１回	令和元年 11 月 13 日（水）	広島県立尾道東高等学校
第２回	令和元年 11 月 18 日（月）	金光学園中学・高等学校
第３回	令和２年１月 30 日（木）	熊野町立熊野第一小学校
第４回	令和２年２月 12 日（水）	広島県立呉昭和高等学校
第５回	令和２年２月 17 日（月）	盈進中学・高等学校



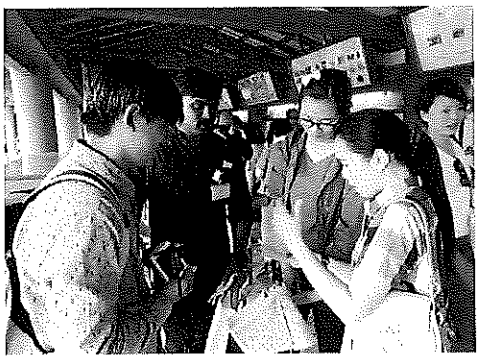
5　宮島ツアー

(1) 概　　要　　広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し，親日感情の醸成に寄与する。

(2) 対 象 者　　ひろしま国際プラザに滞在する研修員

(3) 実施回数　　3 回

(4) 参加者数　　計　研修員　81 名、ボランティア地域住民等　22 名



6　日本理解・交流プログラム

(1) 概　　要　　日本の歴史・文化に対する理解を促進し、地域住民との交流を促進する。

(2) 対 象 者　　ひろしま国際プラザに滞在する研修員

(3) 実施回数　　2 回

(4) 参加者数　　計　研修員　71 名、地域住民等　62 名

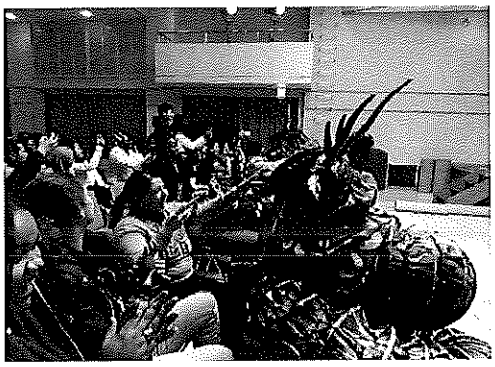
(5) 実施状況

（1 回目）

日　時	令和元年 11 月 10 日（日）　8：00～18：25
場　所	三原市佐木島
参加者	研修員 38 名、一般参加者等 28 名
内　容	・鷺浦小学校文化祭見学・交流 ・ミカン狩りとビーチセラピー体験

（2回目）

日　時	令和2年2月11日（火・祝）　8：10～17：10
場　所	庄原市（備北丘陵公園、比和自治振興センター）
参加者	研修員33名、一般参加者等34名
内　容	・備北丘陵公園でわら細工・昔遊び体験、冬咲きボタン展見学 ・雪遊び、神楽鑑賞・交流



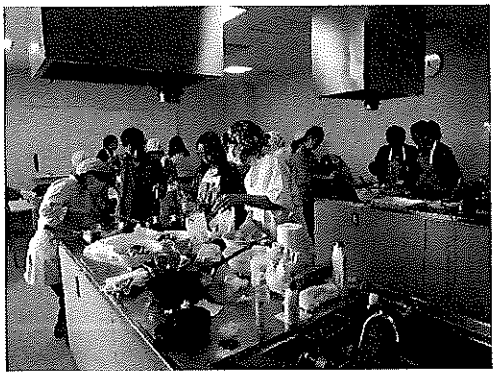
7　長期研修員向けプログラム

(1) 概　　要　　長期研修員に対して、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、地域住民との交流を促進する。

(2) 対 象 者　　長期研修員及びその家族

(3) 場　　所　　ひろしま国際プラザ、雷八幡神社

(4) 参加者数　　計　研修員等　39名、地域住民等　20名



8　東広島地域のまつり等への参加

(1) 概　　要　　研修員が地域コミュニティ等の主催するまつり等に参加し、地域住民と交流を深める。

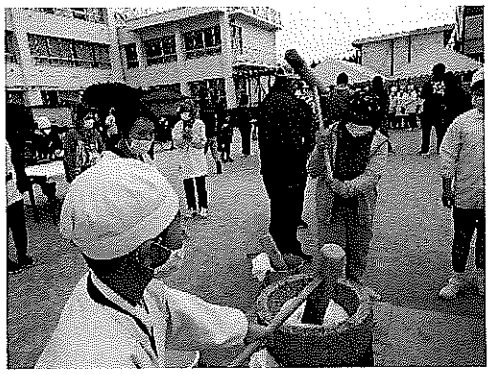
▽　運動会、酒まつり、とんどへの参加
▽　日本と研修員母国の文化・習慣・社会事情等の紹介
▽　外国語のあいさつ・日常会話の紹介

(2) 対 象 者　　国際交流に興味を持つ日本人住民

(3) 場　　所　　御薗宇小学校、酒まつり会場

(4) 実施回数　　3 回

(5) 参加者数　　研修員　95 名、　一般参加者等　1,409 名



２０　国際協力情報の収集・提供事業

（ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業）

１　目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに，各種の相談に応じる。

２　事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

(1) 情報センター・図書室の運営（平成9年(1997年)4月1日開室）
　業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,578 点）
　　ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人，県民を対象とした相談。
(2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供。
(3) 平成21年(2009年) 4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施。
(4) 平成22年（2010年）5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始。
(5) 平成24年（2012年）4月からツイッター，5月からフェイスブック開始。
　　11月から，図書等の一般への貸出開始。
(6) 平成 25 年(2013 年) Wi-Fi 環境の整備，開始。
(7) 平成 27 年(2015 年) 4 月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン。

３　令和元年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：294日）
休室日：毎週日曜日，12月29日～1月3日（蔵書整理等のため，別途年4日間休室）
　　※3月7日午後から新型コロナウイルス感染防止のため閉館中（宿泊研修員のみ利用可）
開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00，土祝日 10:30～19:00

① 情報センター・図書室来室者数

区　分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率(%)	研修員比率(%)
総　数	6,861	727	7,588	90.4	9.6
1日平均	23.3	2.5	25.8		

② 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内　　容	一　般(件)	宿泊研修員(件)	計(件)	一般比率(%)	研修員比率(%)
1　センター事業・研修等，施設利用・案内	158	22	180	87.8	12.2
2　国際交流・協力　NGO，ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	7	1	8	87.5	12.5
3　教育・学習・語学・留学等	5	1	6	83.3	16.7
4　異文化理解（ﾎｰﾑｽﾃｲ・文化交流折り紙等・行事・催し）	118	57	175	67.4	32.6
5　生活一般（医療・公共ｻｰﾋﾞｽ・観光・交通・宿泊・レンタル他）	4	20	24	16.7	83.3
6　その他	8	2	10	80.0	20.0
計	300	103	403	74.4	25.6

③ 蔵書購入　令和元年度実績　：　図書　256冊，CD 9枚，DVD　5本

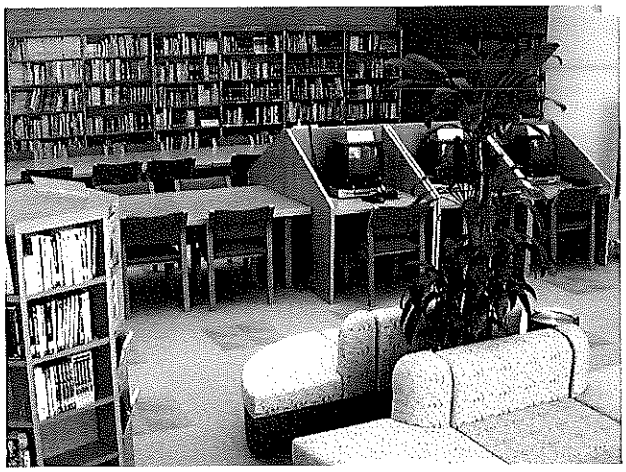
④ リサイクルフェアの実施
　令和元年9月28日　開催（2回目は中止）
　　来室者数　：　127名

⑤ 読み聞かせの実施　（絵本で楽しむ外国語）
　令和元年7月27日　開催
　　来室者数　：　32名
　令和元年10月19日　開催
　　来室者数　：　20名

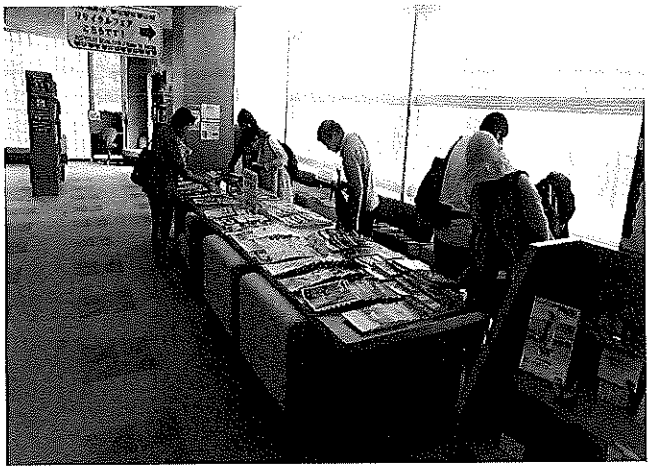
⑥　利用者数，貸出数

（参考）過去の実績　　（単位：人，件）

区分／年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
利用者総数	6,668	8,441	8,849	7,317	7,588
うち一般利用者数	5,289	7,040	7,514	6,457	6,861
うち宿泊研修員利用者数	1,379	1,401	1,335	860	727
相談･問合せ件数	733	480	327	206	403
貸出数（図書，雑誌，AV合計）＊	5,422	7,616	7,341	7,654	8,677



（情報センター・図書室）



（リサイクルフェア）

（絵本で楽しむ外国語）

（研修部：Ⅱ 地域の国際化推進事業）

２１　ＮＧＯの人材育成・情報提供事業

１　目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら，本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また，ＮＧＯ交流室を活用し，ＮＧＯの活動や情報提供を推進する。

２　事業概要

(1)　「草の根国際協力活動支援事業」：県内のＮＧＯ活動を支援するため，「草の根国際協力基金」を創設（平成10(1998)年度）し，県内ＮＧＯ団体の活動を助成。

平成26年3月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け，支援を拡充。

(2)　ＮＧＯ交流室の運営（平成9(1997)年度開始）：ＮＧＯ交流室を活用し，県内外のＮＧＯ活動や情報収集・提供を推進

３　令和元年度実績

(1)　草の根国際協力活動支援事業

（収入） 寄附金額実績	平成30年度繰越	5,937,085円
	令和元年度実績	0円
	計	5,937,085円
（支出） 助成金額等実績	交付決定額 （令和元年度支払実績）	5,703,400円 （1,864,720円）※
残　額		233,685円

※事務費47,320円を含む。

（令和元年度助成事業）

①担い手育成事業

団体名	事業内容	実施場所	交付決定額(円)
インドチャイ倶楽部ひろしま	インド・バンガロール市の中高生を広島に招き，広島の中高生や地元住民との交流による国際理解の促進事業	東広島市等	726,000

②国際協力事業

団体名	事業内容	実施場所	交付決定額(円)
特定非営利活動法人ESA	ミャンマーの学校におけるトイレの劣化・不足を解消するため，トイレ・浄化槽の建設事業	ミャンマー	716,000
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	東ティモールの産業振興のため，コーヒーの品質管理体制強化による生産者の支援事業	東ティモール	1,400,000
わらうすがた	カンボジアの体育教育向上のため，現地での体育講習会の開催や現地教員の教材開発のサポート事業	カンボジア	146,000
特定非営利活動法人ベトナム友の会―ヒロシマ	ホーチミン市内の小学生への図書・教材等の贈呈や，図書・作文を通じ現地と広島市内小学校の交流を通じた教育活動支援	ベトナム	122,000
特定非営利活動法人ＬｉＴＡ	スリランカの森林保全と環境意識向上のため，植林，育林活動，環境教育活動，セミナーの実施	スリランカ	442,000
特定非営利活動法人広島フィリピン友好協会	フィリピンの不就学児童に，広島市民，小中学校児童生徒から提供を受けた文具等を贈る教育支援活動	フィリピン	370,000
特定非営利活動法人NGOひろしま	カンボジアにおいて，健診・健康教育，スポーツ・絵画指導の実施，孤児院に併設した農園経営	カンボジア	1,400,000
広島経済大学興動館カンボジア国際交流プロジェクト	カンボジアにおいて，広島とポーランドの大学生の連携による両国の戦後復興の紹介や教材開発・作成による教育支援活動	カンボジア	381,400

(2)　ＮＧＯ交流室利用状況

利用者数	掲示申込数	団体ﾌｧｲﾙ設置数
492人	464件	50団体 (市町村広報を含む)

(参考) 過去の実績　　(単位：円，人)

事業区分／年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
資金協力	草の根国際協力基金(収入)	27,271,290	0	0	0	0	0	0
	草の根国際協力助成(支出)	0	2,791,719	2,704,884	4,193,832	5,597,229	5,703,475	(5,703,400)
情報収集・提供	NGO交流室利用者数	708	248	498	584	583	339	492

注：R1の（）は交付決定額

２２　ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

１　目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を，両者からの委託により一体的に管理し，中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

２　事業概要

(1)　広島国際協力センターの管理運営（令和元(2019)年度～令和５(2023)年度　第4期指定管理者）
(2)　JICA中国センターの管理運営

３　令和元年度実績

(1)　研修・講習会実績

(単位：コース，人)

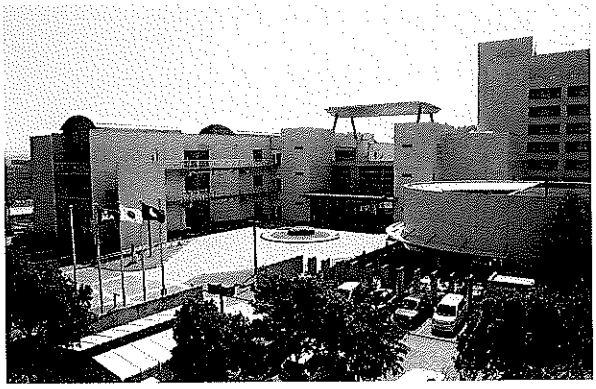
区　　分	コース数	人数	備　　考
広島県研修	８	１２１	日本語高等研修，海外日本語教師養成研修，JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	５０	２８２	課題別研修，国別研修，青年研修，日系研修等
HIC独自研修	２３	３００	青少年等日本文化体験研修，企業等国際化研修，ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘﾚｰｼｮﾝｽﾞ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ等
その他	１６	２３５	企業，大学，協同組合等が実施する国際化研修等による施設利用
計	９７	９３８	

※人数は研修員のみ。講師・引率等は除く。

(2)　宿泊室利用実績

(単位：人泊，％)

区　　分	令和元年度利用者数(A)	令和元年度利用率	平成30年度利用者数(B)	平成30年度利用率	増減率(A/B)
広島国際協力センター	12,343	46.2	14,080	52.8	87.7
ＪＩＣＡ中国センター	7,668	43.6	9,834	56.1	78.0
計	20,011	45.2	23,914	54.1	83.7



【ひろしま国際プラザ】